

Francfranc

天然木製品 / オイル仕上げ製品

この度は、Francfranc の家具をお買上げ頂きまして、誠にありがとうございました。Francfrancでは、天然木の木目や節などの本来素材自体が持つ特徴を活かした商品づくりを心がけています。ご使用になる前に、下記をお読みいただき、天然木製品、オイル仕上げ製品特徴をご理解いただいた上でご使用いただきますようお願いいたします。

■天然木製品について

本製品は、天然木を使用しています。節、木目や色合い等、天然木材特有の商品ごとの個体差があります。あらかじめご了承ください。

- 直射日光の当たる場所でのご使用は出来る限りお避けください。
どうしても直射日光が当たる場合は、カーテンなどで出来る限り避けてご使用ください。
- 冷暖房器具の近くでのご使用は出来る限りお避けください。
必ず、冷暖房風が直接当たらない様にしてください。
- 特に冬場の暖房による室内の極端な乾燥は、無垢材の割れ、反りを発生させる原因になります。
加湿器などをご利用いただき、室内の湿度を保つようご配慮ください。

■オイル仕上げについて

Francfrancでは、素材の自然なままの手触りと質感をお楽しみ頂くために、自然オイル仕上げ製品を提案いたしております。
オイル仕上げ(オイルフィニッシュ)の家具は、天然木に自然オイルを染み込ませて、木肌を守る仕上げ方法を採用しています。
ラッカー、ウレタン塗装などのように塗膜で木地を覆わないため、木の質感・温度を直接感じることができます。
オイル仕上げの家具は、お客様にご使用いただく製品となりましても、家具部品の木は呼吸を続けることができます。
使い込むほどに色つやが変化し、風合いがでてくるのが特徴です。

オイル仕上げは、濡れたものに長時間ふれておきますと「浸み」の原因になります。
例えば、冷たいものを入れたコップ(結露をし、汗をかいたコップ)などの「輪浸み」が挙げられます。
ご使用には、コースターをお使いになるなどの日常的な配慮が必要です。
また、長期間乾燥した状態、あるいは直射日光があたる状態に放置されますと、ひび、反り、変色など発生する可能性があります。
お使いになる上での製品の多少の色落ち、あるいは、変色や傷などは、天然木の風合い、味わいとしてあらかじめご了承ください。

普段のお手入れは、乾いた柔らかい布、もしくは、硬く絞った柔らかい布で拭いてください。
オイル仕上げの風合いが損なわれてきましたら、数年に一度、家具用オイルにてお手入れして頂ければ、風合いがよみがえり、味わい深くなります。
メンテナンス時期としましては、時間と共に色が褪せた様になった時、表面が乾き、油分を感じなくなった時が目安です。